

萩 ネットワーク

東光寺の紅葉
 観である。今の季節、境内のもみじも赤く色づき、周囲が赤く染められる。石灯ろうや石畳とおりなす情景はもの哀しく、物言わぬ藩公の墓碑を取り囲み、訪れる旅人の心を自然と過去の世界へ引き戻してくれるかのようだ。

国指定建造物・東光寺。大照院と並んで毛利氏の菩提寺である。東光寺には、奇数代の五藩主およびその夫人の墓がある。約500基の石灯ろうがあり、毎年お盆の8月15日には、「送り火」としてこれら石灯ろうに火が入れられ壮

第6号 1995年11月
 発行：萩ネットワーク協会
 〒758山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
 TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

紅葉に染まる ふるさとの景色



物産展で萩焼を手にする入館者

物産展・ボロ市・祭りのご案内
萩市からも出店します
姉妹都市の観光と物産展

鎌倉市の国内姉妹都市3市（萩市、昭和54年11月提携、長野県上田市、昭和54年11月提携、栃木県足利市、昭和57年4月提携）の観光情報と特産品を広く鎌倉市民に紹介し、姉妹都市への理解を深めようと開催されるもの。

各市から展示・販売される特産品は次のとおり。
 萩市：萩焼、水産加工品、蒲鉾、夏みかん加工品、銘菓など
 上田市：上田袖、手描友禅、農民美術、りんご（ふじ）、薬用人参、野沢菜漬など
 足利市：着尺、セーター、藍染、草木染、たまり漬、まいたけ、ワインなど

鎌倉市と萩市の交流は、市民芳の往来をはじめ、親善スポーツ試合や音楽の演奏会なども盛んに行われており、今後更に活発な交流が期待される。

とき 11月25日（土）・26日（日）両日共午前10時から午後7時
 ところ 鎌倉市大船6丁目1の2 鎌倉芸術館1Fギヤラリー

八王子いちよう祭り
ふるさとバザール

黄金色のいちよう並木を舞台に繰り広げられる八王子いちよう祭り。今年で第16回目を迎える。

とき 11月18日（土）・19日（日）18日は午前9時から午後5時まで。19日は午後4時30分まで。

ところ 東京都八王子市東浅川町23の1 東京都住宅局用地新地警視庁高尾署隣（国道203号沿い興福寺バス停前）



大勢の人出で賑わう昨年のボロ市

世田谷のボロ市
 一五七八年に小田原城主北条氏が楽市を開いたのが始まりといわれる東京都世田谷区の一（世田谷のボロ市）は、ボロ市通りの代官屋敷を中心に700店を超える露店が立ち並びたくさんの人出で賑わう。

とき 12月15日（金）・16日（土）と平成8年1月15日（祝）・16日（火）いずれも午前9時から午後9時まで

ところ 世田谷1丁目23番地世田谷信用金庫構内駐車場

新しい魅力がまたひとつ

萩時代まつり

萩時代行列

11月11日(土)、12日(日)の両日に、

「萩時代まつり」が盛大に繰り広げられる。

市内椿地区にある金谷天満宮の秋季例祭にあわせて行われるもので、江戸時代から続く平安古町の手廻備(てまわりそなえ)のほか、今年は古萩大名行列も復活!見事な時代絵巻を披露してくれる。

その他、金谷天満宮近くの萩駅では「鉄道の父・井上勝展」が、市民体育館では「長州大骨董市」や「幕末のパン再現と試食」など萩ならではの催しが開かれる。



御駕籠の前で踊られる草履舞



金谷天満宮で奉納される長州一本槍

12日午後0時30分、市役所前庭を出発。旧萩街道(御許町、橋本町、椿町)を練り歩いた後、市民体育館を経て金谷天満宮へ。音楽隊を先頭に、奇兵隊や唐通町の御神祭、川島、聖講、古萩大名行列、平安古町手廻備などが昔ながらの様子を見せる。神社への奉納行列が、町内単位で複数行われるのは全国でも数少ないとみられ、萩市の貴重な歴史的財産の一つと言える。また、古くからの神社を中心とした「祭り」の雰囲気味わえる。

● 手廻備 ●

起源は、享保5年(1720)五代藩主毛利吉元が金谷天満宮の社殿を修復したときに、毎年11月15日を秋の例祭日と定めたのにさかのぼる。この日に「手廻備」の行列を奉納させるために、萩城下の4町内に命じ、必要な手廻り調度品や武具、衣裳などを下り渡ししたことに始まると伝えられる。その調度品などの持ち手を次々と交代させていく動作、奴の衣装を着た者が御駕籠の前で踊る「草履舞」や、長い槍を自在に扱う「長州一本槍」など江戸時代の様子を彷彿とさせる。

● 古萩大名行列 ●

大名行列と呼ばれるが、神社に奉納するための行列のことから奉納されているのか定かではないが、明治年間には祭礼に参加し奉納が行われていたと考えられる。

その後、戦時中に一時中断し、昭和23年に復活。昭和58年まで継続されていたが、人手不足などの理由により再び中断していた。今年、伝統行事を復活させたいという町内外有志の強い希望により、再びの復活となった。



整然と並ぶ聖講

旦那と呼ばれる馬に乗った盛装の子どもが行列に加わるのが特徴の一つで、行列奉納の前日に、この子どもが旦那の位を授かる。「位受け」、奉納翌日には「位戻り」と呼ばれる儀礼が行われる。アシファミと呼ばれる歩き方や、槍の投げ渡し方が平安古町の手廻備と異なる。

● 御神弊・聖講 ●

いずれも神社へ奉納する山車(一種)の御神弊は四角い台の上に金属製の御弊をしつらえたもので、大人数でかついで歩く。聖講は一人が背中に

多彩な催し

● 鉄道の父・井上勝と萩鉄道歴史展 ●

日本近代化に重要な役割を果たした鉄道建設に尽力し、わが国初の鉄道を開通させた

井上勝のイギリス留学中や、鉄道局、鉄道庁時代の写真を展示。併せて、自筆の手紙も展示される。

また、萩の鉄道の歴史を知ろううえで貴重な写真や新聞記事



試作中の幕末パン

事などを紹介した萩鉄道歴史展も同時開催。
▼11日(午前11時~午後5時)、12日(午前10時~午後5時)
▼JR山陰本線萩駅舎
長州大骨董市
▼11日(午前11時~午後5時)、12日(午前10時から午後5時)
▼市民体育館アリーナ
▼県内外からの骨董業者が23出店。古陶磁器、ランプ、ガラス製品など意外な掘り出し物が見つかるかも。時が作りだした骨董品の味わいに触れてみては。

● 消防ふれあいコーナー ●

▼11日(午前11時~午後4時)、12日(午前10時から正午)
▼市民体育館前庭
現在日本に2台しかない消防車「レオ」(昭和7年製)や明治時代の消火ポンプ・水弾器(明治27年製)などの展示。消防の歴史を紹介するコーナーも同時開催。

● ふるさと商人市 ●

▼11日(午前11時~午後5時)、12日(午前10時から午後5時)
▼市民体育館前庭
▼海産物、萩焼、地酒など地元特産品の販売。

● 幕末のパン ●

再現と試食
▼11日(午前11時~午後5時)、12日(午前10時から午後5時)

▼市民体育館アリーナ
▼長州のレオナルド・ダ・ヴィンチと言われた中嶋治平が、幕末に萩で作ったパンの再現と試食。幕末の味をあなたもどうぞ。

● 交通案内 ●

シャトルバス運行時間
11日 午前11時~午後5時
12日 午前10時~午後5時
萩駅市役所前
合庁舎前
人力車運行時間
12日 午前10時~午後5時
萩駅市役所前
萩駅市役所前
萩駅市役所前

'96 前期
維新のふるさと
萩
観光イベント

1 月

15日(祝)

松陰先生をまつる 松陰神社勸学祭
幼少の頃から英才の誉れ高い吉田松陰先生をまつり、受験生の合格祈願を行う祭

2 月

18日(日)

梅林園で厳かに 梅まつり
萩の入口の有料道路周辺で行われる植木市、抹茶席などの趣のあるまつり

18日(日)

萩の観光シーズンの幕開け 観光祈願祭(観光シーズン開き)
観光客の無事故を祈願し、郷土芸能の奉納を行う祭

24日(土)～3月24日(日)

2万5千本の椿の中で 萩・椿まつり

笠山椿群生林の中で行われる郷土芸能披露、抹茶席、特産市、ウォークラリー、写真コンテストなどの家族揃って楽しめるまつり



3 月

10日(日)

早春の風物詩 しろ魚まつり
松本川で行われるしろ魚四ツ手網漁を背景に行われるしろ魚のおどり食い、しろ魚即売などの春を感じるまつり

31日(日)

花のじゅうたん 菜の花まつり
一面の菜の花畑で行われるスケッチ大会、写真撮影などの花を楽しむまつり

4 月

7日(日)

桜の名所で 桜まつり
600本のソメイヨシノが満開の指月公園で行われる郷土芸能披露、カラオケ大会、飲食市などの春を満喫するまつり

5 月

1日(水)・2日(木)
・3日(祝)・4日(祝)
・5日(祝)

土と生命の炎が織りなす陶芸の祭典
萩焼まつり

萩焼窯元、販売店50店以上出店の萩焼大即売会、ろくろ体験コーナーなどの萩焼に触れるまつり



3日(祝)・4日(祝)・5日(祝)

城跡にひろがる花々 牡丹まつり
萩城跡の牡丹園で行われる牡丹即売会、郷土芸能披露などの彩りのまつり

12日(日)

土堀からのぞく白い花 萩・夏みかんまつり
土堀、白壁の続く城下町で行われる夏みかん加工品即売、夏みかんラリーなどの特産品を楽しむまつり

6 月

2日(日)

海の男の祭 おしくらごう
藩政時代から続く勇壮な和船競漕

第16回
萩広域ふるさとまつり

萩時代まつりと同時に開催される「萩広域ふるさとまつり」は、今年で第16回を迎える恒例の大イベント。広域の名のとおり、萩市・川上村・阿武町・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・櫻葉村の1市3町4村が参加。萩市役所前庭おまつり広場を中心に様々な催しが繰り広げられる。昨年は、約11万の人で賑わった。

市役所前庭
おまつり広場では・

11日正午、開会式の後、ステージでは大もちまき大会が威勢よく行われる。この時配られる餅には、くじがついていて、午後3時から抽選でおいしいもち米や海産物が当たる。続いて登場するのは、田万川町の「ロス・アミーゴス田万川」。このグループはふるさとまつりの常連で、毎年、情熱的でリズムカルなフラメンコを披露してくる。その後、イリュージョンマジックショーなどが行われる。



12日には、正午から午後1時30分までの間、萩時代行列が市役所に到着。大名行列の「草履舞」や「長州一本槍」を、ここでも目にする事ができる。

ステージの周囲では、萩広域市町村の特産品が所狭しと並べられ、大勢の買い物客でこったがえす。毎年この日に、お目当てのものを探しに訪れる人も多い。即売される主なものは次のとおり。
萩 市▽農水産物、夏みかん加工品、つめしなど
川上村▽柚子、柚子リキユ



1ルなど
阿武町▽ワイジュース、椎茸など
田万川町▽竹細工、ワインナ、ハムなど
須佐町▽水産加工品、赤米クッキー、こんにやくなど
むつみ村▽農産物、農産加工品など
旭 村▽ごま、ドイツ輸入食品など
福栄村▽シクラメンほか
また、12日午前10時から正午まで鮮魚の販売が行われる。活きのいい北浦のおいしい魚を安く手にすることができ、移動も楽。

農協・

田町商店街では・

萩市農協前庭では、新鮮な農産物の販売、植木市などが行われる。
田町商店街では、郷土工芸体験コーナーが開かれ、萩焼の絵付けや、萩ガラス、見島の鬼揚子を実際に自分で作ってみる。昨年は、ここで子どもたちが一生懸命に自分の作品を仕上げている。1作品500円。市役所と商店街の間をレトロバスが運行している。

市民館では・

大ホールで、萩広域芸術祭が開催される。地元には、古くから大切に伝承されているいくつかの神楽舞や詩吟、箏曲などが披露される。
小ホールでは、海産物加工品の販売や、高齢者の手による刃物研ぎなどが行われる。
上演される伝承芸能昇殿巫女の舞(越ヶ浜)

萩藩一代藩主綱広が、安芸(広島)の厳島神社(宮島)の分社を越ヶ浜に建立した際に、本社と同様旧暦の6月17日の夜に管絃祭を奉納したのが始まり。
御輿を乗せた船(御船)のあとに漁船2隻を並べた上に舞台を作った巫女船が続き、鈴と扇を持った踊り子が緩急の音色に合わせて4人1組で舞う。市の無形民俗文化財の指定を受けている。
山田神楽舞・天狗拍子(山田・玉江浦)
百数十年前から山田菅原神社秋の大祭に奉納される舞。一時期途絶えていたが、昭和52年、地元の若者により復活。毎年、11月の第3土曜日の夜、この神楽舞が奉納される。山田地区は祭気分には包まれる。
天狗拍子は、毎年10月26日、玉江神社祭礼に奉納する舞で、古くから玉江浦地区に伝わる豊漁祈願の舞。長老の唄、太鼓にあわせて小学生の男子20人が舞う。市の無形民俗文化財に指定されている。



昇殿巫女の舞

藤田伝三郎

1841年
～1912年

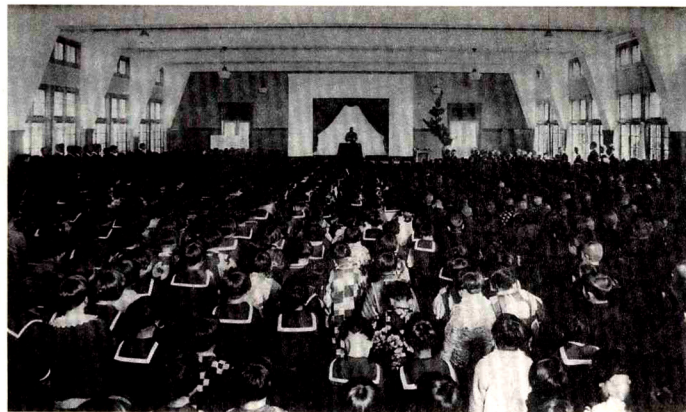


偉人伝

天保十二年（一八四一）酒造家藤田半右衛門の四男として萩城下南片河町で生まれた。二十四歳のとき高杉晋作に師事し奇兵隊に入隊、維新後「官吏となりて公に奉ずるよりも、実業界に入りて公利公益を興すも、国家に貢献する所以は即ち一なり」と、官途につくことを求めず、あえて実業の世界に進んだ。木戸孝允も「従来実業上に経験あ

る有為の人物が、商工業発展の為に尽力し、以て国富の増進に力を致すにあらずんば、邦家の前途未だ知るべからず」と薦めたといひ、伝三郎は大阪に出て車の御用達に従事することになった。ここに後に「西の藤田組、東の大倉組」と称されるほど、財閥として発展していく基礎が築かれた。

伝三郎は数々の先駆的な事業を推進した。明治十三年（一八八〇）井上勝鉄道局長のもとで、日本人のみによる最初のトンネル工事、京都・大津間の逢坂山トンネルが完成したが、この工事を請け負ったのが、藤田組であった。ついで明治十五年には、わが国



心景の 写真は椿東小学校講堂の内部。昭和10年に落成、昭和52年まで使われていました。椿東小学校卒業生には、懐かしく思われることでしょう。あなたの姿が写真の中にあるかもしれませんね。

最初の私鉄阪堺鉄道（現、南海電鉄）を開設した。さらに同年これまたわが国最初の鉄道連絡船、大津・長浜間を琵琶湖上に開業した（太湖汽船）。科学工業の部門では、明治十二年わが国最初の株式会社である硫酸製造会社を興し、紡績工業では明治十六年大阪紡績会社を設立し、それぞれわが国における近代的工業の先駆となった。また開墾事業にも進出し、岡山県の児島湾干拓を十三年がかりで完成させ、わが国の大規模機械化農業の先鞭をつけた。

藤田組が最も力を注いだのは鉱山業で、秋田県の小坂鉱山がその主力であった。小坂鉱山をわが国屈指の銅山として再生させたのが、伝三郎の甥にあたる久原芳之助であった。これによって藤田組は明治末には、古河・三菱・住友など

の財閥と肩を並べるほどまでに躍進した。なお、房之助も萩の生まれで、日立鉱山を経営し現在の日立製作所の基礎を築いた。

伝三郎は社会充進事業にも、多大な貢献を果たした。明治十一年五代友厚らと諮って、大阪商法会議所（大阪商工会議所の前身）を創設し、五代の没後は二代目会頭に就任した。また毎日新聞の前身であった大阪日報の再興や、秋田鉱山専門学校（現、秋田大学）の設立にも寄与した。伝三郎父子が収集した古美術品は、国宝九点・重要文化財四十五点をはじめとして、現在藤田美術館（大阪市）に収蔵展示されている。さらに郷土萩にも多額の寄付をなし、藤田慈善金として当時の萩町の教育・福祉事業に大いに活用された。大正三年（一九一四）

に完成した明倫小学校の講堂の建設費は、ほとんどが伝三郎の寄付によるものであった。

現在、NHK萩放送局のある呉服町の敷地には、伝三郎の銅像がたち、香雪園と称して藤の花の庭園として親しまれていたというが、第二次大戦中に銅像は供出された。今では「藤田氏旧宅地」と刻まれた石碑があるのみで、香雪園にあった三石組は萩市郷土博物館の野外展示場に移されている。



萩市城東のNHK放送局側にある藤田氏旧宅地の碑

【参考文献】
岩下清周「藤田翁言行録」（一九三年）
大島清・加藤俊彦・大内力（一九九三年）
萩市「萩市史第二巻」（一九八九年）
明倫小学校「明倫小学校百年誌」（一九八五年）
萩市「萩市史第二巻」（一九八九年）
沢和哉「日本の鉄道120年の話」（一九九三年）
（文は萩市郷土博物館室員樋口尚樹さん）

萩・ひと・人



有限会社 たけなか 竹中一男さん 萩商44年卒



「夏みかんは萩を象徴するもの経済的にも十分活用できるはず」と熱く語る竹中さん。

祖父の時代から柑橘栽培をしていた関係で、子供の頃から夏みかんにはいつも囲まれていた。しかし、高校卒業と同時に柑橘とは無縁の大阪の羅紗問屋に就職した。ここで、デパート等に入りするようになり、輸送や流通について各種

全国に夏みかんのファンを増やしたい

の体験をする。4年後家業を継ぐためリターンした。

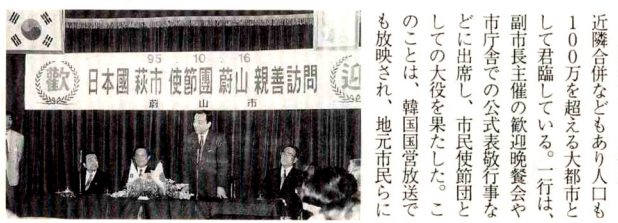
「当時はただの生産者というだけで出荷するだけで、みかんの値段はいわゆるままたいものでした。そこで、自分で販売しようと思いついたのが当時全国的になりつつあった、宅配でした。」

夏みかんの利用は黄色くならなかった時ではないと、3年ぐらい前からは、加工品を手掛けはじめ、夏みかんゼリー菓子・丸漬けなどは人気商品となっていた。

「学生時代からラグビーで鍛えた体力には自信がありますが、何よりも多くの仲間ができることが一番です。」

「今年をはじめ、海産物、生鮮野菜、土産物などの枠を超えたグループのメンバーとなつて開催し、一応の手応えをつかむことができました。これが将来萩市の観光の目玉の一つになればと思っています」と他分野の人とのネットワークを大切にすることも忘れない。

今年、その姉妹都市との市民間交流を目的に、「萩市民号」と称し、大韓民国慶尚南道蔚山市への親善訪問を行った。因みにこれまで、平成3年から継続して国内3都市の親善訪問は行っている。訪問団は、萩市民から一般公募した67名で、団長として野村興児市長も同行した。



10月14日早朝、萩市役所前に集合、福岡から釜山を経由、この日の宿泊地慶州へ。慶州は、新羅王朝の都として約1000年栄えた都市で、現在では世界でも有数の観光都市として知られる。この日の夕食では、華やかな衣装を身にまとった韓国女性による古典舞踊の見学もできた。

近くて遠いよその地の姉妹を訪ねて...



萩市民号、大韓民国蔚山市へ訪問
て、仏国寺・古墳公園・国立慶州博物館などを見学した。観光当日は雨。聞くところによると大変な水不足というところで、久しぶりに降る恵みの雨とともに現地住民からは絶大な歓迎を受けた。午後、目的の姉妹都市蔚山市へ。
萩市と蔚山市とは、昭和43年10月に国内外を通じて姉妹都市として初めて盟約を結び、交流を続けてきた。盟約の目的としては、「両国間で最も至近距離にあり、人口など都市規模もほぼ同じであったことから、共に発展して行くように」とのこと。同市は、現在では自動車製造など韓国を代表する工業都市として発展し、近隣合併などもあり人口も100万を超える大都市として君臨している。二行は、副市長主催の歓迎晩餐会や市庁舎での公式表敬行事などに出席し、市民使節団としての大役を果たした。このことは、韓国国営放送でも放映され、地元市民らに

石川幸子さんが

昨年に続き1億円を寄贈

萩の将来を担う人材育成にと



このほど、元高校教諭石川幸子さん（広島市西区在住）から「21世紀を担う人材育成の教育基金に役立ててください」と、萩市に1億円が寄贈された。

石川さんは、昨年10月にも深交のあった萩市出身の故・守永洋子さん（1993年に死去、当時74歳）が残した1億円を萩市に寄贈し、紺綬褒章を受章。今回寄贈された1億円は、「終戦直後の混乱時期を経験して、頼りになるのはお金」と、つましい生活の

中で「生涯貯金」として石川さんが貯めたお金のこと。「向学心に燃えながら、経済的理由で就学できないふるさと萩の生徒に、学資金の援助を行う教育基金に役立ててほしい」という守永さんの遺志を継いで、萩市が設置した萩市大学進学奨励基金に加えてください」と、野村萩市長に目録が手渡された。

石川さんと守永さんは、長年にわたり多くの学校で教鞭をとり、生徒の育成に尽力。そして、約30年間同居生活を送られた。「先生は裸で生徒の中に入っているような素晴らしい教育者。温かみのある人で母親のように私を守ってくれました。今回、教育基金の趣旨に賛同し、故人の遺

志に改めて応えたいと思います寄付を決めました。これで守永先生も安心なつきたでしょう。」と石川さん。

市では、守永さんの寄付金で今年2月、「萩市大学進学奨励基金」を創設しているが、今回の寄贈を受けて同基金に新たに加えさらに充実したものとし、一人でも多くの将来を担う人材の育成に努めていくことにしている。

石川幸子さん

阿武郡阿東町出身。昭和18年大分県立第二高等女学校に奉職以来、大分、山口広島各県の高校教諭を務め、41年間にわたり生徒の育成に尽力。広島県立広島国体高等専門学校を最後に定年退職した。守永さんと広島県立広島商業高等学校で出会った。守永さんが独身で病身だったため体を気遣い昭和40年から同居生活を送る。21世紀を担う有望な人材育成を熱望されている。73歳。

明治維新防長殉難者顕彰会



今年度の防長殉難者顕彰会（退耕庵）

秋晴れの都大路を時代祭の一大絵巻が展開された10月22日、京都は東山、東福寺の塔頭寺院の退耕庵において「平成7年度明治維新防長殉難者顕彰会」が盛大に開催された。戌辰の役の始まりとなった鳥羽・伏見の戦いで戦場の露と消えた多くの長州の若人、またそれ以前の禁門の変（蛤御門の変）や池田屋事件で志半ばにして亡くなった多くの若き志士達の慰霊を行うため顕彰会が毎年絶えることなく開催されて来ている。

本年は、岸信介前会長の後を引き受けられた田中龍夫会長が2年振りに元氣な姿で出席され、会員から拍手をもって迎えられていた。萩市からも野村市長が参加、萩出身の京阪

の北の山国村で誕生した鼓笛隊が、品川弥二郎作と云われる「宮さん宮さんお馬の前でひらひらするのは何じやいなトコトヤレトヤレヤレ」を演奏し、常に官軍の先頭に立ち志気を鼓舞し、近代日本の夜明けに貢献したが、その山国隊の誕生のいきさつ、活躍の様子について詳しく説明があった。

その後南苗葉参院院政、食食と諸先輩の遺徳を偲びつつ、和気合々と楽しい一時となつた。なお、開催場所の臨済宗東福寺内の退耕庵は京都でも由緒ある寺院で応仁の乱により荒廃するが、安国寺重現により再興、関ヶ原の戦い前に石田三成と宇喜田秀家が密議をこらした場所としても知られている。徳川時代はこのような経緯から不遇な時代を迎えるが、鳥羽・伏見の戦いの折には長州藩の本陣が設けられた経緯がある。

も報せられた。このほか、萩山市では、萩山総合文化芸術会館・萩山大学などを訪問、見学した。

最終日は、龍頭山公園・国際市場など、釜山見学。大都市であり、また貿易港でもあるこの都市の活気を十二分に満喫し、帰路へ。旅の魅力に「食？寝る（宿）遊ぶ（レジャー）」の言葉があるが、その全ての点において満喫できたと同時に、唯一海外にある姉妹都市に直接訪れ、その素晴らしさを実感できたことは大きな成果であったように感じる。（これまで、近くで遠かった姉妹都市が少し身近になった」とは、多くの参加者。

萩市とは、都市のスタイル

10月姉妹都市盟約締結
吉田松陰先生の密航事件など萩市と深いかわりをもたらす、日本の夜明けは下田からと評される。

◎神奈川県鎌倉市 昭和54年11月姉妹都市盟約締結
史跡と風光のまちで、源頼朝の入府にはじまり、日本史上で鎌倉時代と言われる時期を画した武家政治発祥の地。

◎石川県輪島市 平成29年10月姉妹都市盟約締結
日本海に面した美しい自然と豊かな文化遺産を持つまちで「輪島塗り」は日本を代表する伝統工芸として高く評価されている。

萩の福祉

ずっと住みつづけたいまちを目指して

パルライフ協会萩

全国的に高齢化が進む中、21世紀には国民の4人に1人が高齢者（65歳以上）となる

ことが予測されている。萩市においては全国平均を大きく上回る速さで高齢化が進んでおり、平成11年には高齢化率22.2%が見込まれ、地域社会のあらゆる分野に高齢化の影響は顕著となってくる。

高齢者に対する保健・福祉の増進に力を注いでいるが、行政だけでなく民間の力も、と発足したのがパルライフ協会萩。

協会では介護の必要なお年寄りを持つ家族や一人暮らしの方の相談に親身についたり、介護の専門員を派遣しており、行政だけでは手の届かないサービスを行行政と連携を取りながら進めている。

パルライフ協会は、1. 有料で在宅介護・家事サービスをする。利用者が一定の料金を支払うことで気兼ねなく利用できる。

介護サービス 食事・排泄・洗濯・掃除・買い物・お遣い・留守番・話相手など 1時間 900円

家事サービス 調理・衣類の洗濯・掃除・買い物・お遣い・留守番・話相手など 1時間 1,250円

2. 住み相互の助け合いをめぐらし、会員制で運営している。入会金 1,000円 月費 月額 300円

3. 公的サービスの対象とならない人や、長時間の援助が必要な人も利用できる。例えば、

- ・出産前後の支援、子供や家族が病気の時の援助
- ・疾病、ケガなどで一時的に援助が必要な場合
- ・萩市へ旅行に来た高齢者や

私たちに相談ください

相談ください

介護に疲れていた方が、サービスを利用された後、安心に生活に余裕がもたせてもらえたように思われます。リフレッシュすることが、日常生活上どんなに

大切かを痛感しました。私たちがケアワーカーはたとえ小さな事でもお役に立つことがあれば、全員で頑張っています。お金に替えることの出来ない大事なものがそこを感し、私たちが生きがいを感じています。何でも相談ください。（チーフ、長岡厚枝）



ルや方向性は全く異なる萩山市ではあるが、その発展ぶりは真に驚異であった。「古き良き町・萩」も、外からの評に違われぬ努力を、と痛切に感じさせられた4日間であった。

萩市の姉妹都市

◎大韓民国慶尚南道蔚山市 昭和43年10月姉妹都市盟約締結

日本と大韓民国間で、最短距離にある両市が交流を深めることは、両国間の友好につながることはもとより、経済・文化の発展につながる。

◎静岡県下田市 昭和50年

10月姉妹都市盟約締結
吉田松陰先生の密航事件など萩市と深いかわりをもたらす、日本の夜明けは下田からと評される。

◎神奈川県鎌倉市 昭和54年11月姉妹都市盟約締結
史跡と風光のまちで、源頼朝の入府にはじまり、日本史上で鎌倉時代と言われる時期を画した武家政治発祥の地。

◎石川県輪島市 平成29年10月姉妹都市盟約締結
日本海に面した美しい自然と豊かな文化遺産を持つまちで「輪島塗り」は日本を代表する伝統工芸として高く評価されている。

萩地域で、ただ一軒残っている映画館、萩市東田町の「萩キラク」（山本万喜社長）を支援しようという市民団体「萩の映画館を守る会」（都志見久男会長）が今年9月に発足。経営のバックアップ資金として2000万円を目標



キラク1、2が入っているビル

萩地域の文化の灯 「萩キラク」を守ろう！

に萩市内外に救援のための募金を呼び掛けている。
「萩キラク」は1981年、市内にあった「喜楽館」と「萩東映」を萩市田町の現在のビルに統合、邦画専門の「キラク1」（150席）と洋画専門の「キラク2」（190席

萩の映画館を守る会が 募金活動をスタート

なっており、閉館の危機に迫り込まれている。こうした萩キラクの窮状を見かねた映画愛好者の会「萩映画を守る会」（1988年発足、60人、田中俊昌会長）では、経営支援のための募金活動を企画。会の名称も「萩の映画館を守る会」と改める

一方、10月8日に萩市田町商店街で実施した街頭募金を皮

切りに、今年一杯まで近隣住民を対象にした街頭募金のほか、各種団体や職場を回り、募金活動を展開している。
このほか、「萩キラクを満員にしませんか運動」として、月2・3回水曜日の夜に映画を上映して市民などに協力を呼びかけていくことにしている



熱き思いを語る田中俊昌会長

「守る会」の事務局を担当し、救援活動に奔走する毎日を送る「見る会」の田中会長は「萩の人たちにも、映画を文化拠点の一つとして考えてほしいと思います。萩の若い人も他市へ映画を見に行くときあります。若い人に魅力ある映画の上映を考えています。映画館を守る会が一体となってこの運動を展開し

募金は郵便振替（015507-1792）や銀行口座を使った送金も受け付けており、連絡や問い合わせは萩市内、堀之内陶苑内、萩の映画を守る会事務局（0838-22-3724）へ。

スポットライト

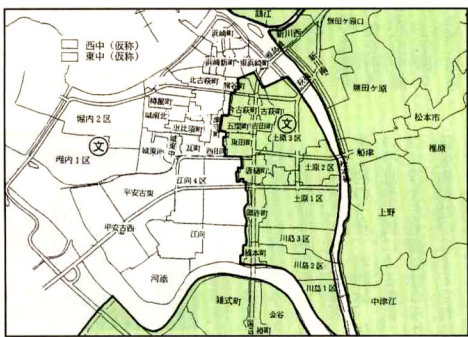
松陰の教えが横須賀に

秋もたけなわの10月3日、神奈川県立横須賀高校の同窓会「朋友会」の一行10余名が来萩。野村萩市長に面会した。来萩の目的は、同高の初代校長の墓参。初代校長とは、吉田庫三氏。氏は吉田松陰先生の妹・三代の子息、即ち松陰先生の甥に当たる。氏は松陰先生死後の誕生となるが、玉木文之進が継承した「松下村塾」に2年間学び、上京し「松学舎」等で漢学を修める。後、学習院、高等師範等

で教鞭をとり、第一線の教育者として活躍、教育界に大きな業績を残された。
明治41年創設された神奈川県立横須賀中学校（現横須賀

高校の初代校長として就任。以来大正11年に亡くなるまでの14年間校長として、教育指導にあたり質実剛健の校風を創り、多くの人材を世に送る。当時、庫三校長から直接薫陶を得た方々は現在相当の高齢にわたっているが、真摯な教育・指導の様子が伝説的に語り継がれ、今なお敬慕されているとのこと。今回来萩された方々は直接の教え子ではないが、同窓会を代表してわざわざ遠路来萩されたことからも、初代庫三校長への熱い思いが察せられる。

時代を担う子どもたちの 教育環境づくり —萩市が中学校区改定に取り組む—



校区割り(案)の地図

萩市教育委員会では、21世紀を展望した新しい教育環境づくりをめざして、川内の萩第一、明経、指月の3中学校を廃止し、新たに2校を設置する萩市中学校区改定に取り組んでいる。

現在の中学校区は1川内の3中学校区が平成7年5月1日現在、萩第一中学校866人、明経中学校171人、指月中学校321人であり、著しく不均衡となっており、その適正化を図る必要がある。
2 変則のないいわゆる自由校区が存在することによって、一部地域の生徒だけが学校選択できるという不均衡が生じており、これを是正する必要がある。
3 自校区内に学校施設が設置されていない。
また、川内3中学校の生徒数は、昭和35年度には2953人であったのが平成7年度現在は1358人であり、さらに10年後の平成17年度予測では1002人（萩第一701人、明経85人、指月216人）「自由校区を廃止した場合」となるなど著しい減少が見込まれる。
こうした諸問題に的確に対応するためには、現行中学校区の見直しが必要と考えられ「2校案」を実施するものである。
改定案は、この基本的な考え方に基づき、現在の川内3校を廃止して新たに東中仮称「萩第一中学校」、西中（仮称「指月中学校」）の2校を新設するものである。
萩市中学校新設校設置準備委員会案例を制定
9月の萩市議会定例会において、川内地区の萩第一、明経、指月の3校を廃止して新たに2校を設置することに伴う必要な事項を審議する「萩市中学校新設校設置準備委員会案例」が全会一致で可決された。

この準備委員会では、2校制への「教育理念」「校名」「施設整備」や「生徒の通学区域に係わる経過措置」などについて調査・審議する。この条例の制定により、新設校に際しての諸課題は準備委員会の中で審議されることになった。
10月24日には、同準備委員会から萩市中学校新設校に伴う生徒の通学区域に係わる「経過措置」について野村萩市長に1回目の答申書が手渡された。今回の答申書では、平成9年4月から2校制となっており、明経中学校区（浜崎町、熊谷町、西田町など）は西中に、自由校区（目代、椎原など）は東中に、江向、河添は西中となる。
問い合わせ 萩市教育委員会（0838・25・3131）

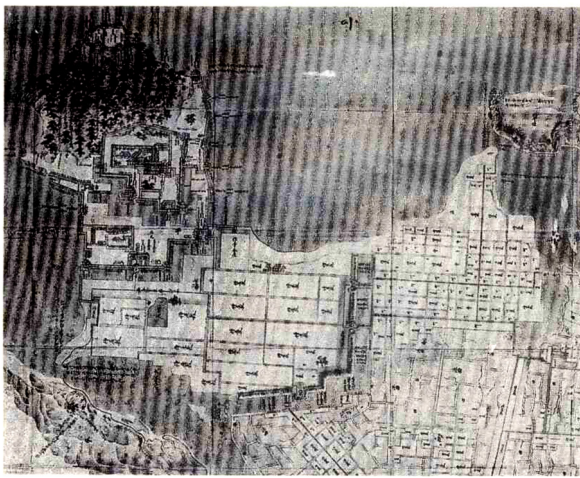
国際陶磁器展に 2回連続で入選

萩焼作家・丸山陶心さん



作品が並べられている丸山さんの工房

第4回国際陶磁器展美濃95の陶芸部門で、萩焼作家・丸山陶心さんの作品「心」が、オン・マインド（心の中の廢墟）が入選した。
今回入選した作品は、高さ70センチ、長さ120センチ、奥行30センチの大作。丸山さんは、前回の第3回（92年）の入選に続き2回目の入選となった。
「前回の入選のときは、驚きと喜びでいっぱいでした。今回は、1人であっても頑張ればメッセージを伝えることができるのだと、強く感じました。
丸山さんは、千葉県出身でサラリーマン生活を経て、19年前に萩に来て焼き物を学び、現在萩市目代に窯をかまえている。
「他の芸術分野と対等の言語を持って語りつづけた内容のあるものを作りつづけた」と、情熱のこもった作品づくりに取り組んでいる。
第4回国際陶磁器展美濃95は、10月28日から11月5日まで岐阜県多治見市の総合体育館で開催。
作品開覧
・日本現代工芸美術展（中国展） 山口県知事賞他受賞
・日本現代工芸美術展入選8回
・西日本陶芸美術展奨励賞他受賞



萩市教育委員会で萩城外堀の発掘調査を行っている(前号)で紹介。

これは、教育委員会が平成2年に作成した史跡萩城跡保存管理計画に基づく整備のための事前調査として行っているもの。ご存じのとおり、萩市は全国に誇れる歴史的観光都市で、その大半を占めるのが藩政時代の町並み建造物などである。こうした歴史的遺産を文化財として後世に伝えるとともに、観光資源として活用するため保存保護に努めている。保存管理計画はこれらを長期的に保存整備する指針となるものである。

藩政時代の遺構を復元

萩城の外堀遺構の発掘調査

今も当時のままの区切りが残る萩城は、近世の初めに毛利輝元が築成した。毛利氏は関ヶ原の戦いに敗れたため、中国地方8か国から周防・長門2か国に減封された。萩の三角州の北西に位置す

外堀は幅16間(約32メートル)ほどであったが、大正13年現在の疎水で掘った土砂によって埋められていた。三の丸は二の丸の外側にあり、役所や重臣の邸宅地域で、堀内とよばれ、外堀によって城下町と区別された。

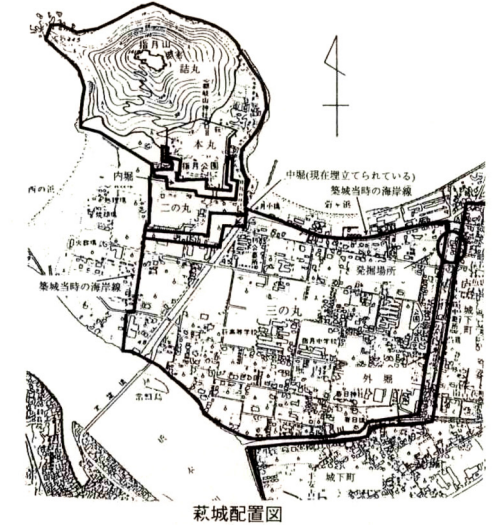
保存管理計画には、当時の遺構を保存するための修理、復元がうたわわれている。萩市ではこれまで、文化財としての修理、復元してきたが、今回、城郭としての重要な遺構である外堀の復元に取組むことになった。発掘調査はその基礎史料を得るためのものである。

萩は歴史と文化財の町ですが、地上に残っているものが多いこともあって、これまであまり発掘調査は行われませんでした。「発掘調査」といいますと、まず弥生時代や古墳などの古い時代を考えます。しかし、最近では江戸時代も立派な遺跡になっています。「掘らないとわからないこと」は新しい時代でも多いからです。今回の調査でも、埋められていた石垣や、町人の暮らしていた土垣や、町人の暮らしていた土垣や、町人の暮らしていた土垣を偲はせる陶磁器など、文献だけではわからないものが沢山見つかりました。

萩の歴史をさらに豊かにするために、埋蔵文化財は大変有効です。これからも発掘を続ける必要があると思います。



興味深い町家の変遷が萩市教育委員会発掘担当者 柏木秋生さん



萩城配置図

萩市教育委員会は、「土堀が語る 歴史の町並み 萩」のビデオを作成した。このビデオは、萩の城下町形成から激動の幕末、そして現代までの約400年を堀内・平安古地区の土堀とともに紹介しているもので、時間は約20分。

萩市には、歴史を物語る多くの史跡や文化財が数多く残っており、萩市でもこれら貴重な歴史的・文化的遺産を保存し、積極的に活用したまちづくりをめざしている。

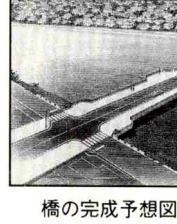
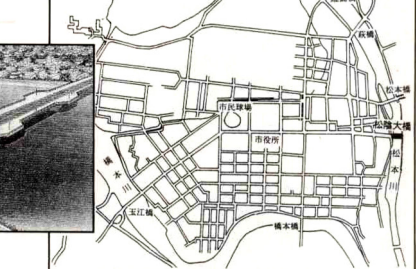
このビデオも個性ある萩のまちづくりを全国に宣伝するものである。会員のみならずにも貸し出しをおこなっている。申し込み・問い合わせ 萩市教育委員会文化課(0838・255・3131)へ



400年の萩の歴史をビデオで紹介

新橋の名称「松陰大橋」に決まる!

一都市計画街路・土原新川線一



橋の完成予想図

現在、山口県が萩市の土原地区で工事を進めている都市計画街路・土原新川線の松本川を横断する橋の名称が決まった。

山口県が橋の名称を募集したところ、236通という多数の応募があり、県が審査のうえ8人の応募作品「松陰大橋」に決めたもの。

この都市計画街路・土原新川線は、土原から松陰神社間の平成7年度完成を目指して工事が進められている。(萩ネットワーク7月号、第4号で紹介)

橋の部分は、萩の自然立地を生かした山並み・三角州をイメージさせる三角形を基調としたデザインで、白壁を連想させる白と黒を組み合わせたものとなっている。

萩市の古代から現代まで

萩市の古代から現代までの歴史、自然、文化の各方面から記した「萩市史」が好評を博している。

この萩市史は、萩市史編纂委員会(萩市役所総務課内)が市制50周年(1982年)の記念事業の一つとして刊行したもので、一巻から三巻までで構成されている。一巻は既に発売しているが、近現代史、地区

編を内容とする二巻、萩の自然・文化を内容とする三巻は販売を行っている。萩を知る教材として購入してみてもいい。

第一巻 6680円
第二巻 5650円
金額には送料を含む
申し込み・問い合わせ 萩市役所総務課内 萩市史編纂委員会事務局(0838・255・3131)へ



みなさんに支えられ、萩ネットワークが満1歳となりました。

萩ネットワークは、昨年10月の創刊以来、萩の情報を届けたいという思いで、これもお届けして1年を迎えました。これも会員の皆さんによるものと、深く感謝申し上げます。

現在、会員数は約1200人余りとなり、南は九州から北は北海道まで全国に広がり文字どおりネットワークされました。萩ネットワーク協会が目指す「人と人とネットワーク」づくりも順調で、更に強めて進んでいます。これからも、情報化社会にふさわしく、豊富な情報量と二層の内容の充実を図るよう、精進して参ります。

今後とも、変わらぬご愛顧・ご支援をお願い申し上げます。

私のお店

静岡県下田市

いず松陰

中川泉さん

山口県宇部市出身

「下田市は、吉田松陰先生の縁で萩市と姉妹都市です。私は宇部市出身で、長門市の水産高校卒業です。ですから、山口県に縁の深いこの名前を付けました。店では「下田の海の魚料理」が中心で、おすすめは季節に応じた魚のおまかせコース3000円からです。また、これからの季節は伊勢エビづくし1万円からのコースも人気料理です。店内は、座敷形式です。どうぞご家族連れでいらしてください」 定員70人。静岡県下田市1丁目22-7。 ☎0558-23-0020。

東北地区

●萩焼作家の個展

◇森繁栄徹・徹父子展

とき 平成8年1月18日(木)～23日(火)
ところ 福島市・中合百貨店

北陸地区

●萩焼作家の個展

◇森田幸三作陶展

とき 12月21日(木)～26日(火)
ところ 富山市・富山大和デパートアートサロン

関東地区

●鎌倉市・姉妹都市の観光と物産展

鎌倉市の姉妹都市の観光情報と特産品を紹介するものです。萩市と鎌倉市は、昭和54年に姉妹都市盟約を締結、萩市からは萩焼、水産加工品、蒲鉾、夏みかん加工品などを出展します。

とき 11月25日(土)・26日(日)
ところ 鎌倉芸術館1Fギャラリー

●アイランダー1995

日本全国から約80の島が池袋に大集合。萩市からは見島が参加。見島の鬼揚子や見島鬼揚子製作体験コーナーが開設されます。

とき 11月25日(土)・26日(日)
ところ 豊島区・池袋サンシャインシティ・文化会館2F

●八王子いちょう祭

萩焼や夏みかん菓子の展示即売があります。
とき 11月18日(土)・19日(日)
ところ 八王子市東京都住宅局用地・新地、警視庁高尾署隣

●世田谷ボロ市

世田谷ボロ市のふるさと物産展に、萩市からも萩焼や夏みかん菓子などの特産品が出展します。
とき 12月15日(金)・16日(土) 午前9時～午後9時

平成8年1月15日(祝)・16日(火) 午前9時～午後9時

ところ いずれも世田谷信用金庫構内駐車場

●「内田青虹・百人一首の世界展」

内田青虹氏は、萩市出身の日本画家でこれまでに多くの賞を受賞されています。現在、小説新潮古代史長編ロマン・黒岩重吾氏の女龍王(神功皇后)の挿絵を描いています。

とき 12月5日(火)～10日(日)
ところ 東京セントラル絵画館

●たちばな会関東支部

たちばな会関東支部の総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

とき 12月1日(金) 午後6時30分～
ところ 港区・はあといん乃木坂

●萩焼作家の個展

◇浜中月村作陶展「萩」

とき 12月8日(金)～15日(金)
ところ 赤坂遊ギャラリー

◇萩焼5人展

萩焼作家の三輪栄造・坂高麗左衛門・波多野善蔵の作品が展示されます。

とき 11月22日(水)～28日(火)
ところ 渋谷東急百貨店

◇納富晋 作陶展

とき 11月14日(火)～19日(日)
ところ 東京・三越新宿店

◇春夏秋陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。
とき 11月22日(水)～28日(火)
ところ 池袋・西武百貨店

東海地区

●からたち会中京支部

からたち会中京支部の総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

とき 11月19日(日) 正午～
ところ 名古屋駅前・第3堀内ビル15F 北京料理「百楽」名古屋店

●萩焼作家の個展

◇萩名家三輪窯一門展

三輪家初代から現代までの作品が展示されます。
とき 平成8年1月3日(水)～21日(日)
ところ 名古屋市・松阪屋美術館

●第4回国際陶磁器展95美濃

萩焼作家・丸山陶心の作品が入選し、展示されています。とき 10月28日(土)～11月5日(日)
ところ 岐阜県多治見市・総合体育館

関西地区

●萩焼作家の個展

◇内村幹夫作陶展

とき 11月15日(水)～21日(火)
ところ 神戸市・神戸百貨店

◇納富晋 作陶展

とき 12月13日(水)～19日(火)
ところ 京都市・京都大丸

◇松野龍司作陶展

とき 11月16日(木)～21日(火)
ところ 大阪市・難波高島屋

◇兼田昌尚作陶展

とき 11月29日(水)～12月5日(火)
ところ 大阪市中央区・大阪三越

●萩市観光宣伝隊

萩市の観光宣伝隊があなたの町を訪問します。日程(予定)は次のとおりです。

とき 11月28日(火)
ところ 午後1時30分：津市表敬訪問、午後3時：街頭宣伝(JR津駅)

とき 11月29日(水)
ところ 午前9時30分：奈良市表敬訪問、午前11時：街頭宣伝(近鉄奈良駅行基広場)、午後3時30分：和歌山市表敬訪問

とき 11月30日(木)
ところ 午前10時30分～午後5時：大阪市・インテックス大阪

●ツアーエクスポ95

全国各地の観光関連の団体が、一堂に会し観光宣伝を行います。萩市から萩市観光協会が参加します。
とき 11月30日(木)～12月3日(日) 午前10時～午後5時30分

ところ 大阪市住之江区・インテックス大阪

●第1回アジア陶器フェスティバル「日本市」

萩焼作家・石松泰唐の作品が展示されます。
とき 11月30日(木)～12月3日(日)
ところ 大阪市南港・弁天埠頭

中国地区

●萩焼作家の個展

◇茶わん百碗展

とき 11月2日(木)～8日(水)
ところ 出雲市駅前・出雲一畑アパート

九州地区

●萩焼作家の個展

◇森繁栄徹・徹父子展

とき 11月7日(火)～13日(月)
ところ 宮崎市・山形屋百貨店

◇萩焼 五十嵐茂典作陶展

とき 12月6日(水)～10日(日)
ところ 熊本市千葉城町・伝統工芸館

◇森繁栄徹・徹父子展

とき 12月7日(木)～12日(火)
ところ 北九州市小倉北区・井筒屋百貨店

◇人間国宝八人展

陶芸界の最高峰として活躍する人間国宝8人の代表作を一堂に集めた初の展覧会。萩焼作家・第11代三輪休雪の作品も展示されます。

とき 11月16日(木)～21日(火)
ところ 北九州小倉北区・小倉井筒屋

山口県関係

●たちばな会下関支部

たちばな会下関支部の総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

とき 11月2日(木) 午後6時30分～
ところ 下関市唐戸市場南風泊漁センター

●特別展「はぎやき展」

萩焼の古代、近代、現代の作品を展示。三輪休和(11代三輪休雪)、三輪休雪、古吉賀大眉、三輪龍作、三輪和彦、金子信彦、兼田昌尚などの作品が展示されます。

とき 10月18日(水)～11月26日(日)
ところ 山口市・山口県立美術館

萩市関係

●萩時代まつり

とき 11月11日(土)～12日(日)
ところ 萩市役所、金谷天満宮、萩市民体育館ほか

内容 時代行列(大名行列、奇兵隊など)、鉄道の父・井上勝展、大骨董市など

●阪神大震災チャリティーコンサート「第九の夕べ」

出演者 指揮・現田茂夫、ソプラノ・佐藤しのぶ、アルト・有富美子、テノール・饗場知昭、バリトン・末廣正巳

管弦楽 九州交響楽団
とき 12月2日(土) 午後6時～
ところ 萩市民体育館

テレビ

●NHK・BS2「第11回秋季BS列島縦断市民参加俳句大会」

東京のスタジオを中心に、山形・松山・萩の各地を中継で結び、地元の人々が作った俳句を選者が10句まで選ぶ。萩市は、大照院から中継されます。
放送日時 11月3日(金) 午前10時～午後4時(生中継)

●NHK総合(山口県内版)「イブニングネットワーク」

11月11日・12日の萩時代まつりで、12年振りに復活に向けて、現在猛練習に励んでいる古萩町大名行列の練習風景が中継されます。
放送日時 11月8日(水) 午後6時30分～

●NHK教育テレビ「あすの福祉」

自閉症を克服して切絵に取り組む萩市在住の切絵作家・上田豊治さんの個展「とよ君の力作全集」が紹介されます。

放送日時 11月9日(木) 午後7時20分～7時50分

●TBS系「旅わくわく 根岸季江の萩・津和野」

懐かしい萩の風景・菊ヶ浜、しらす干し、鶴江の渡し舟、萩焼などを根岸季江が紹介して歩きます。

萩の他、長門市仙崎、津和野が紹介されます。
放送日時 12月2日(土) 午前7時30分～8時

●KRY山口放送 特別番組「萩・大名行列」

11月11日(土)・12日(日)に行われる萩時代まつりの時代行列が放送されます。

275年にわたり継続されてきた平安古町に加え、12年振りに復活する古萩町の名行列、総勢200名を超える大規模なものとなっています。番組では、古萩町の名行列の伝承の姿を中心に描き、市民の力が地域おこしの波動となっていくことを訴えます。また、萩時代まつりの大名行列の模様や骨董市なども紹介されます。萩を離れている人には一見の価値ありの番組です。
放送日時 11月25日(土) 午後5時～5時30分

書籍

●松下村塾 古川薫著(新潮社)1995年8月発行

「松下村塾での開講にあたり、吉田松陰は「天下を奮発震動」させる人材がここから輩出するであろうことを予言した。高杉晋作、久坂玄瑞、山県有朋をはじめとするおびただしい俊才を育て、自信にみちたその予言を的中させたのだ。物置小屋を改造した塾舎で、1年余という短期間のうちに、松陰は若者たちに何を授けたのか。維新史を旋回させる奇跡的な成果を見つけた謎の私塾の正体を、少しく明らかにしてみたい。」著者。950円

●伝統美に挑む「緋が走る」 原作・ジョー指月、漫画・あおきてつお(集英社)

萩焼に取り組む若き女性を主人公にしたコミック。そのひたむきな萩焼に対する取り組み、そして、新しいものへの挑戦が続く。
第8巻まで既刊 500円